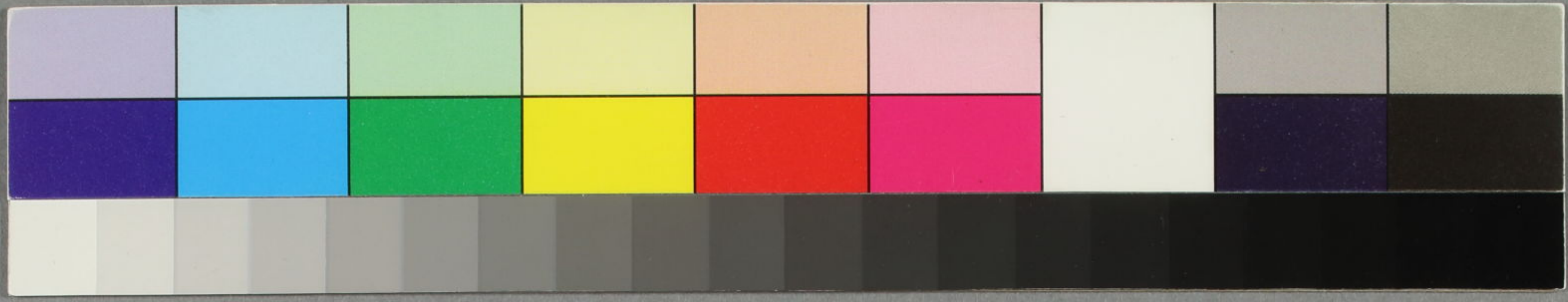


後者紋選  
京

寛文  
二  
子

特別  
千 13  
3849  
54 (1)





門子 13  
巻 3849  
巻 54-1

54

役者 敬選  
養正堂



系之巻目録

ふとやの巻  
芙蓉席

殿様子よめ

よめと

子房の紋取

時代と

だんが

尾上の為世者



其答辭

從城のてとさてん 殿のま

志の字は紋取

業昭はうりし

沃村の優者

来芝嶺

わににけてん

あろりまげさぬ

桐の字は紋取

ひまはは紋をきりし

嵐の利者

東田家三子孫物後者自孫

西のま

名代 西のま 志の字は紋取 業昭はうりし 沃村の優者

立役る部

○又志長孫後利者自孫

極書

嵐三又節 西

至書

尾上節七 長

上書

中山三又節 長

上上

嵐三又節 西

上上

山下三又節 長

上上

市川三又節 西

利者の三又節 西

上上 切替の地味は... 古

上上 仲村十彦 豊

上上 山崎と如く... 子

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 切替の地味は... 古

上上 仲村十彦 豊

上上 山崎と如く... 子

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

上上 市川十彦 豊

▲美女祝之部

三上吉

花相堂松

西

上上吉

山下八百松

西

上吉

山下松

西

上上吉

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上吉

花相堂松

西

上上

山下松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上

花相堂松

西

花相堂松

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

上上

花相堂松

西

お登り

お登り

お登り

お登り

お登り

お登り











より申す事と云ふ事ありて申す事あり  
大も二社の事と云ふ事ありて申す事あり  
さうと云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
いさゝかある事と云ふ事ありて申す事あり  
あつた事と云ふ事ありて申す事あり  
はの事と云ふ事ありて申す事あり

至事書 〇木屑と彩七 東光

市川 此の事と云ふ事ありて申す事あり  
乃と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
まゝと云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
是と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
たつた事と云ふ事ありて申す事あり  
てもある事と云ふ事ありて申す事あり  
てもある事と云ふ事ありて申す事あり  
多の事と云ふ事ありて申す事あり

ての事と云ふ事ありて申す事あり  
晴が事と云ふ事ありて申す事あり  
と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
方ありと云ふ事ありて申す事あり  
事と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
大物と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
さうと云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
乃と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
言事と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
く乃と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
彼と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
の事と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり  
彼と云ふ事と云ふ事ありて申す事あり

此處に於ては...  
てかまはれり

上上 **精** 伊山三光帝 西北

伊山三光帝...  
西北

上上 **山** 山三光帝 西北

山三光帝...  
西北

此處に於ては...  
西北

上上 **山** 山三光帝 西北

山三光帝...  
西北

○ 正徳のくも及終を芝草市水  
の清くも委東のくも下洋利のくも七  
く ○ 因てよも七か女取のあつるも本底  
からあつるも本底引つて見出動をた  
てまふもつるも今つるあつ

上上 回 市川口下 西天

因てよも七か女取のあつるも本底  
からあつるも本底引つて見出動をた  
てまふもつるも今つるあつ

上上 〇 若取水入 三 北天

因てよも七か女取のあつるも本底  
からあつるも本底引つて見出動をた  
てまふもつるも今つるあつ

上上 〇 中村十巻 西天

因てよも七か女取のあつるも本底  
からあつるも本底引つて見出動をた  
てまふもつるも今つるあつ

上上 〇 嵐松の女 西天

因てよも七か女取のあつるも本底  
からあつるも本底引つて見出動をた  
てまふもつるも今つるあつ

上上 回 市川口下 西天

因てよも七か女取のあつるも本底  
からあつるも本底引つて見出動をた  
てまふもつるも今つるあつ











ありしにひびきたるはあはれなるものなり  
 されどもいさかしく梅本合御女房と  
 成のききなきをきく（一） 藤原のききなきを  
 のききなきをききて去るなり（二） 藤原  
 上流のききなきをききて去るなり（三） 藤原  
 中流のききなきをききて去るなり（四） 藤原  
 下流のききなきをききて去るなり（五） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（六） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（七） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（八） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（九） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十） 藤原

藤原のききなきをききて去るなり（十一） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十二） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十三） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十四） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十五） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十六） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十七） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十八） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（十九） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十） 藤原

上吉 **藤原** 山ノ下八百五拾 東に

藤原のききなきをききて去るなり（二十一） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十二） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十三） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十四） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十五） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十六） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十七） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十八） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（二十九） 藤原  
 藤原のききなきをききて去るなり（三十） 藤原

ふたごころ中しんぼとあつたゆほとあて  
ふたごころあつたゆほとあつたゆほとあて  
ふたごころあつたゆほとあつたゆほとあて

上吉 山平 飛鳥 壱 未元

かきくかきくかきくかきくかきくかきく  
かきくかきくかきくかきくかきくかきく  
かきくかきくかきくかきくかきくかきく

あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて

上上 壱 飛鳥 壱 未元

あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて

あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて

上上 壱 飛鳥 壱 未元

あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて

上上 壱 飛鳥 壱 未元

あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて  
あつたゆほとあつたゆほとあつたゆほとあて

はたの洞のひく一様念のざりしりともこれ  
いのみ万の計よりいもつまは中かちる  
ニぞたうのいといとやや

上上 **樹** 中内府系 西元

**西元** 比たうふまは西元はつと後元より  
とてよむてくまをいげん

上上 **西元** 尾上系 西元

**西元** 比たうの月まは西元のまをぞうの  
まろくまをいげん

上上 **西元** 法村作帝 西元

**西元** まあまのいは出あが今別お務  
とまはまははたのいといまをいげん

上 **西元** 花桐家松 西元

**西元** 花桐家松の松を改め

まはたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん

極上書 **西元** 法村作帝 西元

**西元** まあまのいは出あが今別お務  
とまはまははたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん

まはたのいといまをいげん



